

富谷小だより

渋谷区立

富谷小

学校通信

みんなちがって みんないい

校長 石川 亜由美

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのように、
たくさんのはらは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

童謡詩人 金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」です。3年生の国語の教科書にも載っています。

ときに、私たち人間は、人をうらやましく思うことがあります。「あの人は、〇〇をもっている。いいなあ。」「私も、あの人のように、〇〇ができたらいのに。」などと。また、周囲の人と自分とを比べて、自分を卑下する気持ちになることもあります。「私はあの人のように〇〇がうまくできない。」「自分はだめだ。」などと。

この「わたしと小鳥とすずと」の詩から、私は、人をうらやんだり自分を卑下したりする必要はない、この世にあるものは、何一つ、誰一人として同じではなく、一人一人がみんなちがう、だからこそ素晴らしい、大切であるというメッセージを

受け取りました。

子供たちには(大人たちにもですが)、人をうらやんだり自分を卑下したりするのではなく、自分を見つめ、自分の「よさ」や得意なこと、好きなことに気付いてほしいと思っています。そして、たとえ自分の中に不得手なことや足りないと思うところがあったとしても、それを受け入れ、自分をまるごと認めてほしいと思います。この「自分を認める」ということが「さらなる成長」につながると思います。

しかし、幼い子供たちは、自分を客観的に見つめる目が十分には育っていません。ですから、周囲の大人が、子供たちのもっている「よさ」を伝え、価値付ける必要があります。そして、その「よさ」は、「〇〇ができる」といった成果だけでなく、そこに向かっていく過程(頑張り、工夫、強い思いなど)や人との関わり方、立ち居振る舞いなど、広い視点で認め、価値付けてほしいと思います。

後期が始まって1か月がたとうとしています。学校では、「こういう自分になりたい」という目標を立て、それを実現させるための行動を具体的に考え、実行していくように子供たちを励まし、支援しています。これからも、まるごとの自分を認め、日々の生活の中でいろいろな人と関わり合い、互いに認め合い、高め合う子供たちを育てていくことを大事にして教育活動を行っていきます。

6年生の鼓笛隊 くみのの広場パレード出演・鼓笛演奏のご案内

第47回渋谷区くみのの広場パレードに本校の6年生が参加します。また、パレード終了後に、本校の校庭で鼓笛演奏をします。保護者の皆様、学校関係者の皆様、地域の皆様には、ぜひ6年生児童の演奏を観覧していただきたくご案内申し上げます。

1 日程 令和6年11月2日(土)

2 時程・場所 9:30~ くみのの広場オープニングセレモニー(代々木公園通りにて)

9:45~10:20頃 パレード(代々木公園通りにて)

10:40頃~ 鼓笛演奏(本校校庭にて)

※ 雨天の場合は、パレードは中止になります。校庭での鼓笛演奏は、11月9日(土)に延期し、3時間目終了後(道徳授業公開後)の11時40分ごろから行います。